

Top message

ト ヲ ッ プ メ ッ セ ー ジ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第36期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持続的な雇用や所得環境の改善、企業部門での設備投資や生産の増加、また個人消費の持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では米国を中心に経済が堅調に推移する中、同国の対外政策の行方や、さらには米中間での貿易摩擦など、景気の下振れリスクへの警戒感から先行きの不透明な状態が続いております。

当社グループの属するカーアフターマーケットにおきましては、海外市場では地域毎での好不調の差があったものの全体的には堅調に推移しました。しかしながら当社グループにおいて売上比率の高い国内市場では、相次ぐ自然災害の影響などにもより全体的に精彩に欠け低調に推移する中、他社との競争環境などもあって厳しい状況となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは引き続き戦略的製品の「EnduraPro」、「EnduraPro PLUS」の適合車種の拡大に注力するとともに、グループ一丸となって既存製品と合わせた販売の一層の強化に努めました。また、国内外の地域特性に適した各種多様な販売キャンペーンや、展示仕器の活用による売場作り、店頭イベントなどにも力を注ぎましたが、前述の市場環境などから国内販売は伸び悩み、比較的好調だった海外販売も国内販売の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

製品開発につきましては、前述の「EnduraPro」、「EnduraPro PLUS」の拡充に加えて、昨今の自動車メーカーにおけるスポーツカーへの回帰や、サーキットなどでスポーツドライビングを楽しむユーザーの増加傾向を受けて、新製品「MONO RACING」の開発を推し進め、2019年2月より順次発売を開始する予定であります。この「MONO RACING」は、コアなユーザーの高い要求に応えるべく、全長調整式車高調整機構や単筒式構造は元より、さらに繊細なセッティングを可能とする機能（キャンバー・キャスト調整式ピロボールアッパーマウントやキャンバー調整機能付ロアブラケット）を搭載するとともに、新たなカスタマイズシステムも採用し、ワンランク上の高次元なサスペンションチューニングを可能としました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,140百万円と不本意ながらも前年同期と比較して若干の減収となりました。また、損益においては営業利益が215百万円、為替動向の影響などもあって経常利益が207百万円、また親会社株主に帰属する四半期純利益については154百万円と各々減益となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

市 野 啓

TEINI®

For Your Driving Pleasure



テインの信頼と実績の象徴、「ダンパッチ」です。

株主・投資家の皆様へ

第36期 株式会社テイン 中間のご報告

2018年4月1日から2018年9月30日まで

証券コード：7217

◎ 財務情報

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 2018年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	2,627	2,725
固定資産	3,158	3,184
有形固定資産	2,799	2,856
無形固定資産	6	6
投資その他の資産	353	320
資産合計	5,785	5,909
負債の部		
流動負債	985	741
固定負債	1,679	1,967
負債合計	2,664	2,708
純資産の部		
株主資本	3,152	3,234
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	3,192	3,274
自己株式	△473	△473
その他の包括利益累計額	△31	△33
為替換算調整勘定	△31	△33
純資産合計	3,121	3,201
負債純資産合計	5,785	5,909

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
売上高	2,167	2,140
売上原価	1,333	1,296
売上総利益	833	843
販売費及び一般管理費	608	628
営業利益	225	215
営業外収益	34	8
営業外費用	7	17
経常利益	251	207
特別利益	—	0
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	251	207
法人税等	78	53
四半期純利益	172	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	172	154

POINT

※ 四半期連結貸借対照表について

固定負債に含まれる長期借入金が増加し流動資産の現金及び預金が増加しておりますが、これは主に中国工場での設備投資に対して実行した借入れの支払いが未了であったことによります。また流動負債の短期借入金が減少しておりますが、これは前連結会計年度末に実行した借入れの返済を期初におこなったことによります。

※ 四半期連結損益計算書について

中国工場の安定稼働による売上原価の改善に伴い売上総利益率が0.9pt改善したものの、研究開発費や輸送費を中心とした販売管理費の増加により営業利益は減益となりました。また為替動向の影響などもあって経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も各々減益となりました。

■ 売上高 (第2四半期累計) (連結)

単位：百万円



■ 経常利益 (第2四半期累計) (連結) / 売上高経常利益率 (第2四半期累計) (連結)

単位：百万円

単位：%



◎ 通期の見通し

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、国内での消費税率の再引上げに向けた動向、また英国のEU離脱問題や米国における政策運営、中国やその他の新興国の経済成長の行方、さらには米国発の貿易摩擦の強まりなど、内外における景況の先行き不透明感の高まりから、依然として予断を許さない状況が続くものと考えられます。

当社グループの属するカーアフターマーケットにおきましては、消費に力強さも見え始め、今後も持続的な回復が期待される一方で、より一層魅力的な製品の開発や充実したサービスの提供により、厳しい競争環境の中でユーザーから支持される体制の強化が不可欠となっております。

このような中、当社グループといたしましては、戦略的製品の「EnduraPro」、「EnduraPro PLUS」のラインアップの拡充を足掛かりとした海外市場における販売網の拡大や、国内外を対象とした広範囲な営業活動も強化してまいります。またトップメッセージにも記載しましたように、新製品の「MONO RACING」を始めとしたサスペンション専門メーカーならではのドライビングプレジャーの提案により、世界各国の様々なユーザーニーズに対応する製品企画や技術開発体制にも注力し、中国工場の稼動状況をさらに加速させるとともに、増産と合わせたフレキシブルな生産体制も強化し、また品質向上などを推し進めることで、新たな成長と収益力の強化を図ってまいります。

なお、通期の連結業績予想といたしましては、当社では下期に経費が偏る傾向があることなどを鑑み、5月に公表しました売上高4,301百万円、経常利益402百万円、親会社株主に帰属する当期純利益290百万円を見通しております。

2018年12月

◎ 株式情報

■ 株式情報 (2018年9月30日現在)

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 871名

大株主 (上位10位)

株 主 名	持 株 数 (株)	持 株 比 率 (%)
株式会社イチノホールディングス	1,832,000	35.2
市 野 諒	996,300	19.1
藤 本 吉 郎	553,100	10.6
MSIP CLIENT SECURITIES	247,100	4.7
大 西 康 弘	170,000	3.2
日本生命保険相互会社	166,400	3.2
市 野 ルリ子	135,000	2.5
市 野 澄 患	121,500	2.3
小 島 宣 保	110,000	2.1
山 田 一 元	61,000	1.1

(注) 持株比率は、自己株式 (1,458,625株) を控除して計算しております。

◎ 新製品紹介



写真はTOYOTA 86用

「MONO RACING」

全長調整式車高調整機構、単筒式構造 (ストラットタイプはストロングチューブ正立式構造)、また16段階の伸/縮同時減衰力調整機構+ADVANCEニードルによるEDFCシリーズへの対応を始め、より繊細なセッティングを可能とするキャンバー・キャスター調整式ピロボールアッパーマウントやキャンバー調整機能付ロアブラケットを搭載するとともに、新たにスプリングレートの変更やダンピングフォースをカスタマイズするシステムも採用。コアなユーザーの高い要求に応え、サーキットでは1/100秒を追求するワンランク上の高次元なサスペンションチューニングを可能としたプレミアムモデル。



写真はHONDA フィット用SP KIT

「EnduraPro」 「EnduraPro PLUS」

純正ショックアブソーバーと同形状としながらも、各部の強度や容量アップを図ることで純正品以上の剛性や耐久性を確保。またハイドロ・バンブ・ストッパー (H.B.S.) の搭載により、車の挙動を乱す衝撃を吸収することで乗り心地も向上。補修交換として純正スプリングとの組み合わせで標準車高を維持しながらハンドリングの向上が可能なプレミアム・リプレイスメントダンパー。

「EnduraPro PLUS」では、さらに16段階の伸/縮同時減衰力調整機構を搭載することで減衰力調整を車内から簡単におこなえるEDFCシリーズにも対応し様々なセッティングを楽しむことも可能。
※一部車種は非対応

■ 会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設立	1985年2月28日
所在地	本社工場 横浜市戸塚区上矢野町3515-4 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 050-3156-3123 ・製品のお問合せ TEL 045-810-5501 ・IR (投資家向け広報) TEL 045-810-5511 (代表)
資本金	2億1,755万円
従業員数	141名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は含まず。)
事業内容	自動車用サスペンションを始めとする自動車用品の製品開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代表者	代表取締役社長 市野 諒
取引銀行	横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行
事業所	仙台営業所 仙台市宮城野区萩野町3-13-3 横浜営業所 横浜市戸塚区上矢野町3515-4 大阪営業所 兵庫県伊丹市荒牧南4-6-33
関連会社	TEIN U.S.A.,INC. TEIN UK LIMITED 天御香港有限公司 天御遠東国際貿易 (北京) 有限公司 天御減振器制造 (江蘇) 有限公司 宿遷天野貿易有限公司 TEIN Sales (Thailand) Co.,Ltd.

■ 役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	市野 諒
代表取締役専務	藤本 吉郎
取締役	那須 賢司
取締役	武井 共夫 弁護士
取締役	古林 泰
取締役	後藤 浩昭
常勤監査役	三宅 良明
監査役	奥川 貞夫
監査役	原 真志 公認会計士

(注) 1. 取締役武井共夫氏は、社外取締役であります。

2. 監査役三宅良明氏、監査役奥川貞夫氏および監査役原真志氏は、社外監査役であります。

メールサービスについてのご案内

投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。

https://www.tein.co.jp/investors/irtekiji_touroku.html

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日 (中間配当金の支払いをおこなう場合)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先) (お問合せ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (ご照会) ☎0120-707-843
各種手続のお申出先	未払い配当金のお支払い ・株主名簿管理人にお申出ください。 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等 ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。 ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受け付けたしております。
ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告の方法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 https://www.tein.co.jp/ir.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

